

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和6年11月22日

米子市議会議長様

会派名 蒼生会
代表者氏名 稲田 清
提出者氏名 塚田 佳充



下記のとおり報告します。

記

項 目	☐ 現地調査 ☒ 行政視察 ☐ 要請・陳情活動 ☐ 研修会への参加 ☐ 会議への参加
参 加 者	稲田清、門脇一男、渡辺穰爾、奥岩浩基、塚田佳充
期 日	令和6年11月11日～13日（3日間）
〔概 要〕（年月日・場所・内容）	・令和6年11月11日 福山市 13時00分～14時30分 ・義務教育学校（鞆の浦学園について） ・令和6年11月12日 たつの市 13時30分～15時00分 ・空き家等対策事業について ・令和6年11月13日 三木市 13時00分～14時20分 ・縁結び事業について
〔所感等〕	別紙のとおり
経 費	旅費合計197,576円

米子市議会 会派蒼生会 行政視察報告書（福山市）

1. 視察日時 令和6年11月11日 午後1時より午後2時30分まで
2. 視察先 福山市役所
3. 視察項目 「義務教育学校（鞆の浦学園）について」
4. 福山市について 人口 約46万人（米子市の約3倍）
面積 約518平方キロメートル（米子市の約3.9倍）

5. 事業概要

福山市では、少子化の影響から、平成24年度より小中学校の学校施設の再編とそれに伴い小中一貫教育についても検討され、平成27年度に小中一貫校を設置予定であったが、その後の国の義務教育学校制度化により、平成31年度に義務教育学校を設置された。その後、小学校や中学校同士の統合による学校再編、また、令和4年度には小中学校再編により新たに義務教育学校を設置されている。米子市教育委員会でも令和10年度に義務教育学校を開校予定とし準備する中、先行して義務教育学校を設置された福山市へその経緯と教育内容について伺い、特に最初に設置された鞆の浦学園について詳しく伺った。

6. 視察内容

昨今の少子化により、福山市では平成24年度より小中学校の再編を検討されており、その中で1)小学校のみの統合、2)中学校のみの統合、3)小中一貫教育、について研究されていた。当初は平成27年度より小中一貫教育での学校再編に取り組まれる見込みで、検討委員会を設置され基本方針を出された。しかしながら、平成28年度より国の義務教育学校が制度化された事から、小中一貫教育ではなく、義務教育学校の設置を決定され、同年、地域・保護者・校長教頭・教育委員会管理部長ら20名からなる「学校再編推進室」を設置、その後平成29年度には開校に向けての検討部会において、カリキュラム、式典、事務、物品移動、学校図書館運営、保健室運営等について取り組まれ、開校に向けての準備と合わせて、関係者の機運も醸成され、平成31年に1小学校と1中学校からなる鞆の浦学園を開校された。

鞆の浦学園の当該校区においては、地域の特性として学校と保護者や地域が一体となった取組みを従前より行っていたり、観光地の特色を活かした英語の墓ラインティアガイドやふるさと学習などの特色ある教育や新たな取組みを行っており、義務教育学校として設置を決定する前から新しい制度に対応し得る教育環境が出来ていた。また、教育課程の年次的なカテゴリー分けについては、多くの自治体と同様に、前期（1～4年生）、中期（5～7年生）、後期（8～9年生）とし、1～6年生の小学校段階を前期課程、7～9年生の中学校課程を後期課程とされていた。前期課程においては授業1時間を45分、後期課程においては50分とし、休憩時間で調整をされ給食時間は同じとなるよう時間割を組んでおられた。また、学園には校長1名、教頭は前期課程と後期課程に1名ずつの計2名を配置されていた。英語教育では専任教師を5年時から配置するなど義務教育学校の特色を活かし強化されていた。

施設面においては、義務教育学校設置を機に廃校となる小学校を大規模に改装し、新たに新棟を建て替えられて使用しておられ、歴史ある観光地のご当地の景観に合わせた和風イメージの外観、木をふんだんに使用した温かみのある学習環境を整えられた。また、棟内には、ふれあいホールを設置され、

地域や保護者との交流の場としても使用されていた。福山市では平成31年以降の学校再編により21校が廃校、義務教育学校の2校を含む9つの学校が新設され、その跡地については、基本的には解体の方針ではあるが、地域の活動拠点としてグラウンドと体育館を残していいたり、今年度からは民間からの提案制度を取り入れたりなど利活用のケースも出てきていた。鞆の浦学園では、グラウンドは元小学校のものを共用で使用しており、中学校課程となる後期課程の年代では部活動で使用する際には面積が狭く、中学校跡地のグラウンドを使用するなどし対応されていた。また、義務教育学校となった事で、7年生時に部活動を開始する前段階の5・6年生はクラブ活動を通して体験活動で部活動へ参加するなどされていた。通学については離れた地域はスクールバスを利用されていた。

鞆の浦学園の校名については、公募を行い318の候補の中から15まで選定され、最終的に8案の中から現在の校名に決定されていた。また、校歌については、歌詞のフレーズを募集し、それを基に地元出身の音楽グループへ依頼を作成されたとの事であった。

7. 所感・考察

今回回った福山市では、平成31年の鞆の浦学園、令和4年の想青学園の2つの義務教育学校を設置されていたが、少子化に伴う学校再編全体として小中学校21校を9校にされており大規模に再編を進められていた。その中においても、地域性を活かした地域住民との取り組みや地域との連携が可能となるよう、学区についても配慮され、遠方からの通学についてはスクールバスを導入されるなど対応されていた。義務教育学校については、新制度と9年生のメリットを活かす学校づくりに取り組まれておられ、現在、本市で準備段階に入っている義務教育学校と同様の取り組みも行われており、その準備や方向性について、福山市の事例を伺うと本市の方向性は同じであろうと安心させれる一方で、米子市の義務教育学校の準備としてはまだまだ取り組まなければならない事項や地元や保護者との意見交換、将来の学校像についての方向性の共有などがあると改めて考えさせられた。今回の視察を機に、本市が準備中の義務教育学校がより良いものとなるよう引き続き会派としても提言や議会での議論を深めていきたい。

会派 蒼生会 視察報告

日 時：令和6年11月12日 午後1時より

視 察 先：兵庫県たつの市

調査項目：空き家等対策事業について

(1) 視察の目的

令和4年3月に策定された第2期たつの市空き家等対策計画が策定され、空き家等の発生抑制・適正管理、空き家等の利活用の促進、管理不全状態の空き家等・特定空き家等の改善・解消が主な取組として行われており、それらの内容を聞き取り、本市の施策に反映させることを目的とした。

(2) 視察（説明）要旨

①たつの市の空き家の状況

平成25年には、空き家が3,140戸、令和5年には4,070戸と上昇しているが、空き家率は令和5年では12.8%であり、兵庫県の13.8%および全国の13.8%よりは下回っている状況である。

②空き家相談センターについて

行政においては空き家バンクの運営に人的コストなどの課題があり、事業者においては土地・建物の所有者の確認が煩雑などの課題があり、中間支援組織の立ち上げが有益であると考えられ、平成30年8月に設立された。

相談件数は、平成30年から令和5年の間で592件であり、空き家バンクへの登録や売買等の解決に至ったのは417件であった。なお、新規相談件数が減少してきたことから同センターへの委託業務を終了し、令和6年度より相談業務をたつの市まちづくり推進課窓口へ統合した。

③主な事業として

- (1) 空き家活用支援事業
- (2) 家財道具等撤去費支援事業
- (3) 空き家バンク事業
- (4) 定住促進住宅取得支援事業が展開された。

(3) 視察の（説明）要旨に対する考え方及び本市に参考となる点

空き家を取り巻く問題に対して、たつの市としては発生抑制に注力していることが理解できた。相談窓口としての「空き家相談センター」は新規相談者が減少したことにより、市役所に移ったわけであるが、背景にはそのセンターでの業務のノウハウが蓄積され、市の担当課でも対応が出来るという判断が裏付け

となっていた。米子市においては、担当部署があるものの、より強化する必要があると感じているところであり、今後、地域で加速度的に生じるであろう空き家の問題に対して積極的に対応できる体制づくりを求めていく必要があると強く感じた。

以上

会派「蒼生会」 行政視察報告

日 時：令和6年11月13日 午後1時より

視 察 先：兵庫県三木市

調査項目：縁結び事業について

(1) 視察の目的

三木市の合計特殊出生率は、昭和60年頃までは全国平均並みの1.70であったが、その後は低下し始め、平成17年には出生率1.07と兵庫県内29市中最低水準となった。しかし、平成27年には出生率1.34、令和2年には出生率1.20と、兵庫県内市ベスト3の増加率で回復してきている。この間に、新たな課の創設や様々な施策の取組がなされており、その事例や内容の聞き取り、本市における少子化対策や婚活サポート事業等の施策に反映させることを目的とした。

(2) 視察（説明）要旨

①三木市の人口推移について

三木市の人口は、昭和45年頃から緑が丘などでのニュータウン開発により急激に増加し、平成9年に人口8万8千人でピークを迎え、その後、若者世代の流出や出生数の低下などにより人口は継続的に減少している。平成17年には吉川町と合併したものの、人口の減少は止まらず、平成27年には8万人、令和6年には7万4千人となっている。今後も人口減少が続き、少子高齢化に拍車が掛かるものと推察される。

②縁結び課誕生の経緯について

平成13年～	みきハート・まちおこし実行委員会設立
平成20年11月	みきで愛(出会い)サポートセンター設立
平成26年4月	縁結び課 新設
平成28年3月	三木市創生計画 策定
平成28年4月	ふるさと納税業務が縁結び課に
令和2年3月	第2期三木市創生計画 策定
令和2年4月	地方創生業務が縁結び課に

※縁結び課の業務内容については、新たに総合戦略やインバウンド戦略の推進、公民連携に係る事務を担い、婚活支援、ふるさと納税、移住・定住の促進、空き家バンクなどとともに、地方創生に係る事務を一体的に進め、「誇りを持って暮らせるまちみき」の実現をめざすこととなっている。

③縁結び事業(みきで愛サポートセンター)について

(1)パーティー部門

みきハート部会として平成13年に開始。年2～3回、パーティーを行う。ボランティアは7名程度で、成婚者は13組。

(2)お見合い部門

サポーター部会として平成20年に開始。登録者(相談者)同士がお見合いを行う。登録すると、担当サポーター(ボランティア)が決まり一緒に活動する。お見合い前後のサポート、成婚まで相談にのるサポーターは21名で、成婚者は132組。

(3)その他

新たな取組として「婚活応援団」を開設。市内で開催する民間主催パーティーの後援→広報や開催場所等のサポートを事務局が行う。令和4年から活動が活発化。カップル数は把握できているが成婚者は不明。

・令和4年

応援団パーティー開催数 12 参加者数 544 カップル数 129

・令和5年

応援団パーティー開催数 19 参加者数 374 カップル数 96

(3)視察の(説明)要旨に対する考え方及び本市に参考となる点

まずは縁結び事業を活用しての成婚者の多さに驚かされた。その要因を探れば、そこには第2の親的存在の「出会いサポーター」(ボランティア)の存在がある。15年も続く活動の中でナンバーワンのやりがいを見だし、単に結婚するだけのマッチングフォローではなく、生涯の幸せに繋がる活動を目途とされている。まずはサポーターづくり(ひとづくり)。そこが他の自治体との大きな違いでもある。本市においては、人口減少、少子化の要因の一つである晩婚化・未婚化に対応する具体的な取組として、中海圏域で一体となって出会いの場を創出し定住の推進を図っているが、成果があがっているとは言い難い。中海圏域での取組も大切ではあるが、今一度、本市の婚活サポート事業等を検証し、ひとづくりとともに、少子化対策や定住対策に資する真の事業へ進化させなければならないと強く感じた。

行政視察行程（会派：蒼生会 5 名）

月 日	行 程	宿泊先等
11/11 (月)	8:29 8:33 8:34 10:30 10:33 11:14 11:16 12:45 米子駅====伯耆大山駅=====倉敷駅=====福山駅====（昼食）====福山市役所 JR 特急やくも 8 号（岡山行） JR 山陽本線（福山行） 徒歩約 3 分	（昼食） 福山駅周辺
	福山市行政視察 午後 1:00～午後 2:30 【議会事務局：水野様】 ☎(084) 928-1136 【場 所】福山市役所（広島県福山市東桜町 3-5） 【待ち合わせ】庁舎 1F 総合案内 12:50 【調査項目】義務教育学校（韮の浦学園）について（座学のみ）	【ホテル】 リッチモンドホテル福山駅前 広島県福山市東桜町 1-1 TEL.084-973-8030 ※現地払い
	14:30 14:35 福山市役所=====ホテル 徒歩約 5 分	
11/12 (火)	9:15 9:18 9:31 10:43 11:25 11:45 11:47 11:50 12:50 12:55 ホテル=====福山駅=====姫路駅=====本竜野駅=====（昼食：あずま）====たつの市役所 徒歩約 3 分 JR 新幹線こだま 842 号（新大阪行） JR 姫新線（上月行） 徒歩 3 分 たつの市・送迎	（昼食） 中華料理店あずま たつの市龍野町堂本 3 4
	たつの市行政視察 午後 1:30～午後 3:00 【議会事務局：谷口様】 ☎(0791) 64-3177 【場 所】たつの市役所（兵庫県たつの市龍野町富永 1005-1） 【待ち合わせ】中華料理店あずま 12:50 【調査項目】空き家等対策事業について	【国民宿舎】 志んぐ荘 兵庫県たつの市新宮町 新宮 1093 番地 TEL.0791-75-0401 ※現地払い
	15:00 15:15 たつの市役所=====宿泊先（志んぐ荘） 志んぐ荘・送迎	
11/13 (水)	9:10 9:25 9:40 10:01 10:11 10:22 10:42 11:07 11:10 11:26 12:45 12:50 宿泊先=====本竜野駅=====姫路駅=====加古川駅=====粟生駅=====三木駅/（昼食・和食さと）====三木市役所 タクシー JR 姫新線（姫路行） JR 神戸線新快速（敦賀行） JR 加古川線（西脇市行） 神戸電鉄・粟生線準急（新開地行） 三木市・送迎	（昼食） 和食さと 三木店 三木市末広 2-6-20
	三木市行政視察 午後 1:00～午後 2:20 【議会事務局：大原様】 ☎(0794) 89-2309 【場 所】三木市役所（兵庫県三木市上の丸町 10 番 30 号） 【待ち合わせ】和食さと三木店 駐車場 12:45 【調査項目】縁結び事業について	
	14:25 14:30 14:44 15:00 15:07 15:31 15:37 15:47 16:22 16:42 17:13 19:32 19:33 19:37 市役所====三木駅=====粟生駅=====加古川駅=====姫路駅=====岡山駅=====伯耆大山駅=====米子駅 三木市・送迎 神戸電鉄・粟生線（粟生行） JR 加古川線（加古川行） JR 神戸線新快速（姫路行） JR 新幹線みずほ 609 号（鹿児島中央行） JR 特急やくも 21 号（出雲市行）	（夕食） 列車内

※11 月 13 日 姫路⇄岡山間は区間距離 88.6 キロのため自費で新幹線を利用

旅費計算表

令和6年11月11日 ～ 令和6年11月13日 (2泊3日)

月 日	区 間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
							特 別	新 幹 線		随 行 1,100円	10,900円	9,800円
11/11	伯耆大山駅～倉敷駅	JR	138.4		3,410		2,390		1,500			10,700
(月)	倉敷駅～福山駅	JR	74.2									
11/12	福山駅～姫路駅	JR	146.9		3,080			3,060	1,500			11,000
(火)	姫路駅～本竜野駅	JR	14.9									
11/13	本竜野駅～姫路駅	JR	14.9		990				1,500			
(水)	姫路駅～加古川駅	JR	15.7									
	加古川駅 粟生駅	JR	16.6									
	粟生駅～三木駅	神戸電鉄	9.9		410							
	(視 察)											
	三木駅～粟生駅	神戸電鉄	9.9		410							
	粟生駅～加古川駅	JR	16.6		4,840							
	加古川駅～姫路駅	JR	15.7									
	姫路駅～岡山駅	JR	88.6									
	岡山駅～伯耆大山駅	JR	154.3				2,730					
計	議 員 旅 費			47,520	13,140	0	5,120	3,060	4,500	0		21,700
	随 行 旅 費			0								

出 席 議 員 稲田議員、奥岩議員、塚田議員、渡辺議員

議員旅費 47,520 × 4名 = 190,080 円

お土産代 7,496 (3箇所) 7,496 円

合計 197,576 円

広島県福山市、兵庫県たつの市、兵庫県三木市

蒼生会・会派行政視察

旅費計算表

令和6年11月11日 ～ 令和6年11月13日 (2泊3日)

蒼生会・会派行政視察

広島県福山市、兵庫県たつの市、兵庫県三木市

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当	宿 泊 料	
							特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
11/11	米 子 駅 ～ 倉 敷 駅	JR	143.2		3,410		2,390		1,500	10,900円	9,800円
(月)	倉 敷 駅 ～ 福 山 駅	JR	74.2								
11/12	福 山 駅 ～ 姫 路 駅	JR	146.9		3,080			3,060	1,500		11,000
(火)	姫 路 駅 ～ 本 竜 野 駅	JR	14.9								
11/13	本 竜 野 駅 ～ 姫 路 駅	JR	14.9		990				1,500		
(水)	姫 路 駅 ～ 加 古 川 駅	JR	15.7								
	加 古 川 駅 粟 生 駅	JR	16.6								
	粟 生 駅 ～ 三 木 駅	神戸電鉄	9.9		410						
	(視 察)										
	三 木 駅 ～ 粟 生 駅	神戸電鉄	9.9		410						
	粟 生 駅 ～ 加 古 川 駅	JR	16.6		5,170						
	加 古 川 駅 ～ 姫 路 駅	JR	15.7								
	姫 路 駅 ～ 岡 山 駅	JR	88.6								
	岡 山 駅 ～ 米 子 駅	JR	159.1				2,730				
計	議 員 旅 費			47,850	13,470	0	5,120	3,060	4,500	0	21,700
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 門脇議員

議員旅費 47,850 × 1名 = 47,850 円
合計 47,850 円